

第 574 回 放送番組審議会

1. 日 時 2021年5月18日（火）午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員 長	佐藤 健志
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝
委員	越沼 洋一
委員	緑川 智恵子
委員	林 英彰
委員	蛸崎 奈津子

欠席委員 1名

副委員長 加藤 千晶

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
畑山 篤	(常務取締役 報道制作・編成担当)
池田 学	(取締役 関連会社担当)
桑島 広実	(報道制作局次長兼制作部長)
廣嶼 文樹	(報道制作局 制作部副部長)

事務局

藤村 恵一 (編成局長兼編成部長)

4. 議 題

1. 4/11 (日) 23:25～23:55 放送
「夢見るピノキオ ～岩手の素敵な建物巡り～」
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見

6. 意 見

委 員 側 意 見

- 建物というところで“古きを知って今をよりよく”というようところが、現在コロナ禍で色々豊かな生き方とは？というところで再考されている方が多い印象があり時流にはマッチして、教養的な要素もあり非常に良い番組だったと思った。
- 盛り込み過ぎないで、洋館は洋館だけで1本30分で作るという紹介の仕方で、2回目で翌週温泉ホテル特集とかやるとか、そういうこともできたのかな？と思った。
- 今回主要の4市だったが一関を取り上げた場合ほどこだわったのかが気になった。曲選択のこだわりがあるのか知りたいと思った。
- 大沢温泉のところで、映像で紹介されていた露天風呂、私が昨年入った時は男女混浴だった。今もそうであれば、それを伝えておくべきだったと思った。もりおか啄木・賢治青春館の字幕説明で、「重厚な内装 この時代は珍しく吹き抜けがない」とあり、正確な意味が受け取れなかった。
- 6箇所の建物を紹介していたが、それぞれの価値を活かして活用しているということがよくわかった。
- 報道番組やドキュメンタリーと違い、こういう番組は絶対的に良いか悪いかとかでは無く、見る人がどう捉えるかというように思うので、そういった点ではあまり批評とか評価というのは、私は似合わないと思った。
- 細かい専門用語の歴史なども説明し、建築の価値をより広く分かり易く知ってもらえるような番組を別に見られたらいいと思った。
- 地域に愛され、単身赴任の方も是非見るようにという話もあるようなので、これからも末永く、地域の情報を発信する番組であり続けてほしいと期待している。

局 側 意 見

- 曲の選択のこだわりは番組の開始当時のプロデューサーの番組作りから脈々と続いてきて、60年代後半から80年代ぐらいまでの洋楽などを中心にしている。選曲に関しては各々デ

ィレクターのセンスで選曲をしており、個性がそれぞれ出ているところ。

- 建物というところがベースで、なるべくそれなりには地域はちらそうと思い、チョイスした。
- 洋館で1本という話も、最初は考えたがそこまでは行き付かず足りないという事と、何よりも昔の古い建物が今も使われているというところに価値あり素敵なことだと思い、今も使われている建物でこの様なラインナップになった。
- 専門用語のようなものも出たが、もう少し丁寧に説明して良かったかと思った。
- 石井県令邸の蔦を見たかったというお話もあり、その通りと思う。この時期に建物巡りの話をした理由は、雪が消えたとはいえ緑で色々なものが覆われる前というのは、建物の姿も非常に確認しやすい時期と石井県令邸も夏場になると全部緑で覆われるので、窓の形が実はあまりよく分からなくなってしまう。この時期だと綺麗に見えるからという事だったが、その辺りももう少し取り上げて良かった。
- 横目で見ているけれど「中がどうなってどのように使われているか？」というのは意外と知らない建物があり、それをぶらり歩きながら町を目線で見ていきたいと思いますというのがテーマで、その辺りを楽しんでいただけた方も多くいたというのは非常に嬉しく思う。
- 幅広く色々なバリエーションを持ち、番組をこれからも制作していきたい。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

- ①自社放送 5月25日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載
- ④自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>